

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	頭頸部腫瘍における細胞分化バイオマーカーの開発
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	草深 公秀
研究期間	2019 年 4 月 ～ 2024 年 3 月
対象者	2009 年 1 月より 2019 年 3 月までの 10 年間に当院で手術された唾液腺の腫瘍、お口や喉の癌、甲状腺の腫瘍、顎の骨の中にできる腫瘍を含む頭頸部腫瘍の患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	今回の研究の目的は当院で手術された頭頸部腫瘍の患者さんの病理検体を用いて、予後などを予測する新しいバイオマーカーを探し出すことです。
方法および研究で利用する試料・情報について	①対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。また、手術で切除された腫瘍の病理標本を研究に用います。 ・背景因子（年齢、性別など）、 ・臨床データ（画像検査結果、病理検査結果など） ・転帰（再発の有無など） ②各患者さんに識別番号を割り付けて匿名化を行い、情報等の取扱いにはこの識別番号を用います。患者さんとの番号を結び付ける対応表は、当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。 ③「研究組織」に記載した各施設からも病理標本や診療録の情報を集めます。病理標本や情報は、郵送で提供されます。 ④集めた病理標本を特殊な染色によって腫瘍特有の分子の発現を調べたり、標本から DNA などを取り出して、腫瘍における遺伝子の異常などを調べます。
研究拒否後の対応	患者さん又は患者さんの代理の方から、病理検体を使用しない旨の申し出があった場合は本研究に関する検体はただちに破棄します。ただし既に解析したデータに関しては、そのまま使用します。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。

資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
研究代表施設・代表者	静岡県立総合病院 草深 公秀
研究組織	研究を実施する全ての共同機関の名称及び研究責任者名 静岡県立静岡がんセンター 病理診断科 大石琢磨、杉野 隆 同上 頭頸部外科 鬼塚哲郎 浜松医科大学大学院 医学研究科 腫瘍病理学 梶村春彦、 山田英孝、石野佳子 浜松医科大学附属病院 病理診断科 馬場 聡 豊橋市民病院 臨床検査科 前多松喜 横浜市立大学 附属病院 病理部 山中正二 同上 耳鼻咽喉科 高橋秀聡 同上 歯科口腔外科 竹内 杏奈 聖隷浜松病院 病理診断科 大月寛郎 兵庫医科大学病理部門 機能病理学講座 山根木康嗣 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床病態病理学 稲垣 宏 北海道大学大学院医学研究科腫瘍病理学 田中伸哉、石田雄介 関西医科大学医学部頭頸部外科・耳鼻咽喉科 岩井 大、鈴木健介 九州大学医学部附属病院 病理診断科/大学院医学研究科 機能病理学/病理診断科 山元英崇 愛知がんセンター 頭頸部外科 花井信広 九州がんセンター 病理診断科 田口健一 大阪医科大学医学部 頭頸部外科・耳鼻咽喉科 河田 了 長野赤十字病院 病理診断科 伊藤以知郎 順天堂大学静岡病院 和田 了 東北大学医学部附属病院 病理部 渡辺みか 倉敷中央病院 病理診断科 板倉淳哉 埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科 安田政実、浜田芽衣 高知赤十字病院 病理診断科 黒田直人 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理学/病理診断科 福岡順也、立花由梨、 佐野 寿郎 東京女子医科大学附属病院 病理診断科 長嶋洋治 東京医科歯科大学医学部附属病院 病理部 明石 巧 愛知学院大学 歯学部 顎顔面外科 宮部 悟、石橋 謙一郎 恵友会札幌病院 病理診断科 大内 知之
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 病理診断科 板倉 淳哉 E-mail:kenkyu@kchnet.or.jp (臨床研究センター)

	(★を@に変換して使用してください。)
--	---------------------